



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月11日

上場会社名 アディッシュ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7093 URL <https://www.adish.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 江戸 浩樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画本部長 (氏名) 久保 芳和 TEL 03-6869-3777  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（決算説明の動画配信を予定しております。）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	878	14.5	△43	—	△41	—	△32	—
2022年12月期第1四半期	767	—	19	—	18	—	12	—

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 △32百万円 (—%) 2022年12月期第1四半期 14百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	△18.25	—
2022年12月期第1四半期	7.06	6.93

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2023年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,354	695	51.3
2022年12月期	1,458	727	49.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 694百万円 2022年12月期 725百万円

1

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,900	14.0	50	△49.0	50	△53.6	33	△57.2	18.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	1,798,560株	2022年12月期	1,796,160株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	129株	2022年12月期	129株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	1,796,298株	2022年12月期 1 Q	1,796,031株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社が属するインターネット業界の動向は、2023年3月20日に公表された経済産業省の特定サービス産業動態統計調査によると、インターネット付随サービス業の2022年の売上高は2兆2,431億円（対前年比101.3%）で、統計調査を開始した2009年以降13年連続で増収となっており、堅調に推移しております。

一方、当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が緩和されるなど回復の兆しをみせた一方、ロシアによるウクライナ侵攻、エネルギー価格の高騰に伴う世界的なインフレ加速や、急激な為替の変動により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、「つながりを常によるこびに (Delight in Every Connection)」というミッションを掲げ、デジタルエコノミー（注1）に特化したカスタマーサクセス（注2）ソリューション・プロバイダーとして、企業が成長する際に必要となるカスタマーに関する課題を解決するためのサービスとして、カスタマーサクセス総合支援、ソーシャルアプリサポート、インターネットモニタリングを提供する「グロース支援サービス」と、デジタルエコノミーに適應するうえでの課題を解決するためのサービスとして、スクールガーディアン、フロントサポート、システムプロダクトを提供する「アダプション（注3）支援サービス」を展開しております。

近年、スタートアップ市場を中心にカスタマーサクセス人材のニーズは増加しており、そのニーズに応えることが当社グループの更なる成長に繋がることから、当第1四半期連結累計期間において、カスタマーサクセス人材の充実を図るべく、採用や教育、育成などへの先行投資を行いました。これらの先行投資は、当連結累計期間及び以降の事業成長を実現すべく、第2四半期連結会計期間も引き続き行う予定であります。

また、昨今の労働市場の動向に対応すべく、人材確保のための市場競争力強化を主な目的とした賃金水準の引上げを行っております。この結果、売上高878,382千円（前年同四半期比14.5%増）、営業損失43,336千円（前年同四半期は19,453千円の営業利益）、経常損失41,579千円（前年同四半期は18,666千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失32,775千円（前年同四半期は12,684千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。なお、当社グループはカスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- (注) 1. 「デジタルエコノミー」とは、デジタルテクノロジーやデータを活用した経済活動のことであります。  
 2. 「カスタマーサクセス」とは、顧客（カスタマー）が成功出来るよう顧客に寄添い、顧客の成功とはなにかということを探め続ける取組みのことであります。  
 3. 「アダプション」とは、顧客が製品やサービスを導入したあとに本格的に活用し、定着させていく段階のことであります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,177,606千円となり、前連結会計年度末に比べ113,845千円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少125,591千円によるものであります。固定資産は176,919千円となり、前連結会計年度末に比べ9,412千円増加いたしました。これは主に投資その他の資産その他に含まれる繰延税金資産の増加12,416千円によるものであります。この結果、総資産は1,354,525千円となり、前連結会計年度末に比べ104,433千円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は492,304千円となり、前連結会計年度末に比べ92,705千円減少いたしました。これは主に未払費用の減少42,309千円、未払法人税等の減少22,906千円及び流動負債その他に含まれる契約負債の減少18,852千円によるものであります。固定負債は166,444千円となり、前連結会計年度末に比べ19,958千円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加19,368千円によるものであります。この結果、負債合計は658,749千円となり、前連結会計年度末に比べ72,746千円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は695,775千円となり、前連結会計年度末に比べ31,686千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上32,775千円によるものであります。この結果、自己資本比率は51.3%（前連結会計年度末は49.8%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想については、2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	849,018	723,426
受取手形、売掛金及び契約資産	387,212	393,342
貯蔵品	1,017	1,042
その他	54,477	59,795
貸倒引当金	△275	—
流動資産合計	1,291,451	1,177,606
固定資産		
有形固定資産	73,156	77,589
無形固定資産	203	146
投資その他の資産		
差入保証金	83,225	75,854
その他	10,921	23,327
投資その他の資産合計	94,146	99,182
固定資産合計	167,506	176,919
資産合計	1,458,958	1,354,525
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,776	44,760
1年内返済予定の長期借入金	55,968	72,608
未払費用	252,641	210,332
未払法人税等	28,389	5,482
その他	206,234	159,121
流動負債合計	585,010	492,304
固定負債		
長期借入金	144,092	163,460
退職給付に係る負債	2,394	2,984
固定負債合計	146,486	166,444
負債合計	731,496	658,749
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	54,047	54,119
資本剰余金	449,782	449,854
利益剰余金	221,528	188,753
自己株式	△359	△359
株主資本合計	724,997	692,366
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	945	2,311
その他の包括利益累計額合計	945	2,311
新株予約権	427	1,097
非支配株主持分	1,091	—
純資産合計	727,462	695,775
負債純資産合計	1,458,958	1,354,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	767,447	878,382
売上原価	502,157	614,991
売上総利益	265,289	263,390
販売費及び一般管理費	245,836	306,727
営業利益又は営業損失(△)	19,453	△43,336
営業外収益		
受取利息	10	10
助成金収入	—	2,056
その他	865	367
営業外収益合計	876	2,434
営業外費用		
支払利息	271	398
為替差損	1,037	267
その他	354	11
営業外費用合計	1,662	677
経常利益又は経常損失(△)	18,666	△41,579
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	18,666	△41,579
法人税、住民税及び事業税	4,729	4,702
法人税等調整額	1,253	△12,415
法人税等合計	5,982	△7,713
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,684	△33,866
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,091
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	12,684	△32,775

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,684	△33,866
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,793	1,366
その他の包括利益合計	1,793	1,366
四半期包括利益	14,477	△32,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,477	△31,409
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,091

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。